

AUTOSAR 新スポークスマンにシュテファン・ブンツェル博士 (Dr Stefan Bunzel) を任命

2010年4月1日付でシュテファン・ブンツェル博士 (Dr Stefan Bunzel) が AUTOSAR (AUTomotive Open System Architecture)開発パートナーシップの新スポークスマンに就任した。コンチネンタルの電気エンジニアであるブンツェル博士は BMW のシモン・フルストの後任として同ポストを引き継ぐことになる。フルスト氏は今後も AUTOSAR Steering Committee のメンバーとして従事し続ける。今回の引継ぎは従来通り、9ヶ月毎の任期交代の一環として行なわれた。

代理スポークスマンのポストにはダイムラーの Advanced Engineering E/E Architecture and Standards 部で Senior Manager を務めるシュテファン・シュメルラー博士 (Dr Stefan Schmerler) が、フォルクスワーゲンの Networks and E/E Architecture 部リーダーの アンドレアス・ティッツェ博士 (Dr Andreas Titze) の後任として就任した。

シュテファン・ブンツェル博士は、「この先の9ヶ月は AUTOSAR の将来にとって重要な時期である。」と語り、「2010年末までには、新コンセプトがまとまると同時に、同コンセプトが 4.1 のリリースに組み込まれていなくてはならない。この試みの行方は同リリースの導入化タイミングである2012年までのスケジュールを左右する為、革新性、安定性、過去モデルへの適合性の3点を全て考慮し、賢明にバランスをとっていくことが私達の課題である。」と続けた。

ブンツェル氏は、ソフトウェア開発の分野において長年の経験者である。同氏はドイツのフランクフルトに所在するコンチネンタルソフトウェアプラットフォーム本部のリーダーで、同部はコンチネンタルの自動車部品産業部門をグローバルにサポートしている。また、同氏は2004年以来 AUTOSAR 開発コーポレーションでも活躍していると同時に2006年から2008年までプロジェクトリーダーも務めていた。ブンツェル氏は2008年に既に AUTOSAR 代理スポークスマンのポストに就任していた。同氏は AUTOSAR 勤務以前には、モデルに沿ったデザインソフトウェア開発のプロセスに従事しており、ドイツのハノーファー大学電気エンジニア学部博士号の所有者でもある。コンチネンタル社へ入社する2001

年までは同大学の自動コントロール部の研究員であり、ここで彼はキャリア街道を歩み始めた。

ブンツェル氏は、「新スポークスマンのポスト就任を非常に誇りに思う。前任のシモン・フルスト氏が彼の在職期間中に開発パートナーシップに対して広大かつ実り深い貢献をしてくれたことをこの場を借りて改めて感謝したい。」「アジアにおいて AUTOSAR のインパクトは日に日に大きくなりつつあるため、2010年5月13日に東京で開催される第2回 AUTOSAR オープン会議を非常に心待ちにしている。AUTOSAR が自動車部品産業界ソフトウェアテクノロジーで世界的に鍵となるべく先導的役割を担っていることを本会議の反響が証明してくれることになるだろうと確信している。」と語った。

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は自動車メーカー、サプライヤーまたエレクトロニクス、半導体およびソフトウェアを専門とする企業の世界規模の開発パートナーシップです。2003年以来これ等の企業は、自動車業界ために開発、標準化されたソフトウェア、アーキテクチャーの開発と導入に取り組んでいます。**AUTOSAR** の仕様を活用することによって、ソフトウェアとハードウェアの交換およびアップデートを容易にすることができます。電気・電子システムがますます複雑化する中、確実な管理が可能となります。また品質面で妥協することなく、コスト効率を向上させることができます。**AUTOSAR** のコアパートナーは、BMWグループ、ボッシュ (Bosch) 、コンチネンタル (Continental) 、ダイムラー (Daimler) 、フォード (Ford) 、ゼネラルモーターズ (General Motors) 、PSA プジョー・シトロエン (PSA Peugeot Citroen) 、トヨタ自動車、フォルクスワーゲン (Volkswagen) です。これに加えて65社以上が会員の "プレミアムメンバー" と "開発メンバー" 、更には85社以上の "提携メンバー" があり、これらはパートナーシップ成果向上のために重要な役割を果たしています。**AUTOSAR** の開発パートナーシップに参加している企業は **AUTOSAR** 仕様を無償で利用することができます。

お問い合わせ：

www.autosar.org

media@autosar.org